

生涯学習講座 一般講座 No.9

折形おりかたの歴史と実践



十二月十一日(木)、新宮市にて教室を開くなど活躍されている玉置亨玲(りつれい)さんを講師として呼び出し、古くから伝わる礼法の折形(おりかた)について教えてもらいながら、実際に自分たちの手を動かして学びました。参加者は9名来ていただきました。

折形とはハサミや糊を使わず、紙のみで物を包む贈答の礼法で、武家社会である室町時代から様々な礼法家が存在していたそうです。江戸中期になると商業が活発になり商人の子が教養のため身に付け、明治の時代になると高等女学校や女子師範学校の授業として取り扱うなどして一般に広まりました。



森浦分館、秋の遠足は、11月30日、日曜日に行い、天候にも恵まれ、29名の参加で御在所ロープウェイから紅葉を楽しみました。あ

森浦分館活動報告

まりにも高いので皆さんは驚いていました。標高差は日本一だそうです。昼食はドライブインですませ帰りにVISIONで買い物をして

一日楽しく過ごして来ました。
森浦分館 上中敏之

